



# 社協更木だより

第14号  
平成17年3月15日  
編集・発行  
各務原市社会福祉協議会  
更木支部編集杉山

## 一年を省みて

社会福祉協議会更木副支部長

徳田 寿恵雄

昨年は台風が記録的な数の発生(10個)に依り日本各地に風水害が多発、更に10月23日には新潟中越地震が発生大きな被害となり今なお非常に多くの方々が苦しんで居られます。

心よりお見舞い申しあげます  
昨年4月にH16年度がスタートして間もなく一年になります  
うとしていますが、16年度の活動予定もほぼ計画通りに無事消化することが出来ましたことは支部役員方々のご協力と会員皆様方のご理解とご協力のお蔭と喜んで居り厚く御礼申し上げます。

此の一年間で一番印象に残ったのは、6月27日の笠田公園で行ったふれあいドッヂボールと宝探し大会の行事でした。炎天下の野外行事でしたが役員各位が朝早くから汗をながしてそれぞれの受持ちに協力して頂いたことに依り予定通りに進行して子供たちも大いに満足した様でした。特に会場との往復の移動については一番心配をしましたが事故もなく無事終了する事ができました。役員を始め皆さん全員の大きな協力のお蔭で有難うございました。

今、日本は世界一の長寿国とも云われて居りますがその栄光の影にはいろいろな問題を抱えている事はやうまでも有りません。長寿と健康とは常に一体でなければなりません。これらの日本ではひとりでも多くの人が自分の事は自分で意識を常に持ち「死ぬまで健康」で居られることが非常に大きく社会に貢献する事になるのです。先ず自分で出

## コミュニケーションの大切さ

推進委員 多和田 昌明

来る限りの運動を続ける事、人それぞれに自分の体に合つた無理が無く毎日続けられる事をする、これが超健康体を作つて「死ぬまで健康」で居られるのです隣同士声を掛け合つて常に明るく健康で長生きする事が、社会福祉にも大きく貢献する事になるのです。人生最大の幸福は健康であること。

最近、毎日のようにテレビニュース、新聞紙上に児童の虐待事件が起きている事が報じられています。この10年くらいの間に人々の心に大きな変化が生じ、子供に対する情熱とか、愛情とか、ハートとかそういう「心」がうすらえて来ているように思われます。平和な以前の日本は、貧しかったかもしれません、その時代は隣人愛で、地域の人たちが手と手を取り合つてやうな「心」で子供達を見守つていたからだと思います。幼児期の環境などさまざまな影響を受けてその子の「心」は変つて行きます。日常生活を楽しく過ごしていくよう、家庭、親子関係、職場の人間関係を通じ、コミュニケーションの大切さを知られます。災害が発生した時、近所隣り同志ふれあうことが出来れば、きっと元気で強く生きられるでしょう。コミュニケーションを通して自分にもまわりの人達にもやさしくなるだろう、人間つて素晴らしい。

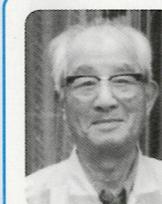
# 元気なオジイちゃん 元気なオバアちゃん



- 《質問内容》  
 ①好きな食べもの  
 ②嫌いな食べもの  
 ③今、楽しみなこと  
 ④今、不安に思うこと  
 ⑤仲間にいつまでも入れてほしい。  
 ⑥特にありませんが、今1週間に踊りの会、山野草の会、3B体操など、またライフカレッジに出席して、家に引きこもらず皆と話をするようにしています。また、努めて外を歩くように心がけています。  
 ⑦有り  
 ⑧土筆会(ボランタリーハウス)で民謡を歌い、踊ったりした事です。

- 三井東町 廣瀬松枝さん (82歳)  
 ①なんでも食べますが和食が好きです。  
 ②特にありません。  
 ③友達と皆で民謡を歌ったり、3B体操した後おしゃべりすることです。  
 ④年を取ると共にあちこちが痛くなります。  
 ⑤元気なうちは、歌ったり踊ったりしたいので皆の仲間にいつまでも入れてほしい。  
 ⑥特にありませんが、今1週間に踊りの会、山野草の会、3B体操など、またライフカレッジに出席して、家に引きこもらず皆と話をするようにしています。また、努めて外を歩くように心がけています。  
 ⑦有り  
 ⑧土筆会(ボランタリーハウス)で民謡を歌い、踊ったりした事です。

- 三井北町 岩井しげ子さん (80歳)  
 ①野菜  
 ②肉  
 ③参加する事  
 ④ナシ  
 ⑤仲よくすること  
 ⑥休む事  
 ⑦有ります  
 ⑧地域の近隣ケア、ボランタリーハウスには出席しています。  
 (みどりの会) (ひなげしの会) (ごへいの会)



- 小佐野町 柴山泰利さん (89歳)  
 ①野菜、果物、煮物  
 ②辛い物  
 ③民謡、カラオケ、絵描き  
 ④交通事故  
 ⑤各公共団体役員選考は広範囲から。  
 ⑥趣味を多く持ち、それを生かす。  
 ⑦有ります。  
 ⑧町内の伝統行事、千日祭り

- 三井町 加藤善二さん (83歳)  
 ①五目飯、ぜんざい  
 ②ない  
 ③週2~3回コーヒーの場で戦争当時の思い出や今後の社会の動向を語ること。野菜作りの得意な談合  
 ④大地震が生じたら……  
 ⑤愛、努力、調和の豊かな社会の創生を  
 ⑥目標を立て、規則正しい行動の実行  
 ⑦有ります  
 ⑧歴史文化を知得する研修旅行

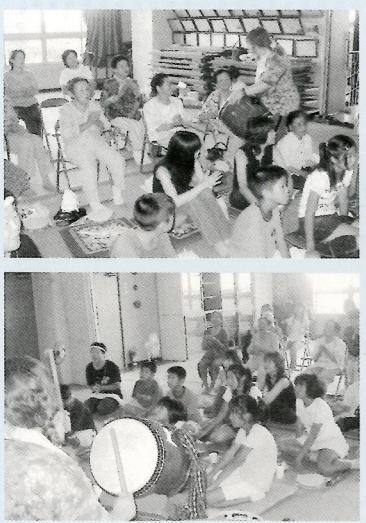


- 大野町 岩田道子さん (99歳)  
 ①すききらいなし  
 ②なし  
 ③針仕事、本を読むこと  
 ④なし  
 ⑤なし  
 ⑥自然のまま

- 三井北町 岸野寿子さん (81歳)  
 ①何でも食べる  
 ②なし  
 ③曾孫の成長  
 ④金  
 ⑤みどりの会を楽しみにしている  
 ⑥曾孫の成長  
 ⑦有ります  
 ⑧みどりの会、ひなげしの会、ごへいの会

## 平成16年度 社会福祉協議会 更木支部活動経過報告

月日	活動内容	備考
4月23日	社協支部長会議	総合福祉会館
5月20日	更木支部 総会	稻羽西福祉センター
6月17日	介護講習会(転倒予防教室)	つつじ苑、上野講師他、稻羽西福祉センター
6月22日	役員会(ふれあいドッヂボールと宝さがしの件)	稻羽西福祉センター
6月27日	ふれあいドッヂボールと宝さがしの会	笠田公園広場と川島会館
7月28日	三役会議(行事反省と今後の活動について)	出席者:会長、副会長、会計、推進員2名、相談役、計6名
8月 4日	親子ふれあい映画の夕べ(どうもん:忘れるものか)	稻羽西福祉センター
8月31日	更木だより発行	第1回
10月 1日	川島社協役員会より招待依頼	更木社協の現況説明に会長及び太田会計出席
11月28日	市社協大会	市民会館
12月10日	福祉座談会(更木支部各ボランタリーハウス役員による活動報告と反省等)	稻羽西福祉センター
2月末日	更木社協だより発行	第2回



## 役員の人から

稻羽西小学校  
三井町 岩井 梨乃

私は、お母さんとおばあちゃんとお姉ちゃんと弟で行きました。はじめにチーム決めをしました。チームはお母さんと弟と私のチームです。おばあちゃんとお姉ちゃんは他の人と組みました。チーム決めをしてから少し練習をしました。でもみんなやり方が分からなかつたのでやり方をおじいさんたちに聞いたりして練習しました。いいよほんばんです。一～八の所を三回やりました。一回目はお母さんも弟も私も少し練習しただけだったのあまりうまくできませんでした。二回目はだんだんなれてきてお母さんが一発で入れました。二回目が終わってから少し休けいした時にジュースとかしをもらいました。

三回目は弟も私も三回ぐらいでいられるようになりました。

ぜんぶ終つてからお昼を食べながら結果発表がありました。お姉ちゃんたちのチームはどべで私たちのチームはその次でした。弟は個人でBB賞のフライパンをもらつて喜んで居ました。今回はあまりいい結果ではなかつたけど今度やるときは、今回のけいけんをいかしてがんばりたいと思ひます。

הנחתת צביה

卷之三

いきいきサロンを開催して

近隣ケアーグループ 大野町カトレア会 代表 岩田 治子

私たち、大野町カトレア会は近隣ケアーの一環として、十一月に入つて穏やかな秋晴れの十一月七日、大野町公民館にて、いきいきサロンを開催しました。

六十五歳以上の方々に参加していただきました。内容として「市民相談課による生涯学習出前講座」「昼食、手作りまいたけご飯、けんちん汁、鬼まん、他フルーツ」「楽しいゲーム」などして一日楽しく過ごしました。

出前講座では市民相談課の方とボランティアの人たちによりタイトル“悪徳商法よさらば”と題して、今世間を騒がせている「おれおれ詐欺」等の笑い寸劇を交えてそんな時はどうしたらよいかなどの、アドバイスをしていただき、皆さん真剣に聞き入つていきました。

食事の後、「輪投げ」「もぐらたたきゲーム」などをして楽しい一日を過ごしてもらいました。お帰りのとき皆さんに「有難う」「楽しかったわ」「おいしかったわ」「よかつたよかつた」といついただき、私たちグループの皆もほつとしました。

自治会長さんはじめ、民生児童委員、市民相談課の方々のご協力をいただきおかげ様で無事終わることが出来ました。どうも有難うございました。

いきいきサロンを開催して

近隣ケアーグループ 大野町カトリア会 代表 岩田

感動や笑いを

拾遺記

高齢化がすすんでいる今日、高齢者、障害のある人も子供たちもみんなで支え合つて暮らせる町をめざして私たちは暮らしています。いきいきサロンからボランタリーカフェと呼び名も変わり、地域での活動も活発に行われつあります。生きがいを持ち、仲間作りが出来、お互い助け合つていく地域社会、そして笑いのある日々。感動や笑いは脳細胞の活性化を促進すると聞いています。プラス志向で声をかけ合い助け合つて暮らせる日々になつてほしいと思いまます。

高齢化がすすんでいる今日、高齢者、障害のある人も子供たちもみんなで支え合つて暮らせる町をめざして私たちは暮らしています。いきいきサロンからボランタリー・ハウスと呼び名も変わり、地域での活動も活発に行われつつあります。生きがいを持ち、仲間作りが出来、お互い助け合つていく地域社会、そして笑いのある日々。感動や笑いは脳細胞の活性化を促進すると聞いています。プラス志向で声をかけ合い助け合つて暮らせる日々になつてほしいと思います。

現在は十七名の隊員で活動しています。私がフレコミ隊に入ったのは、学校のボランティア活動や作業を通じて、地域への奉仕活動に興味を持ったからです。

月に一回の活動では、福祉センター前の草引き、学校の草引き、スポーテク祭の手伝い、学校のベンキぬりをやってきました。

私が活動をやって、一番印象に残っているのは、福祉センター前の草引きでした。その日は、非常に寒い日でした。

草を引いて、どんどんきれいになつていくのを見ていると、とても気持ちがよくなつてきて、寒さなんか忘れるくらい一生けん命やることが出来ました。

終わつてからいただいたお菓子と熱いお茶は、やりとげた満足感と重なつて、とてもおいしかった思い出があります。

そして、この活動から、自分が裏方となりふだん誰もやらない所をきれいにして、みんなに喜んでもらうことが、自分自身の喜びにもつながるんだなあと分かりました。

私の家は六人家族です。

おじいちゃんは、体が悪いのに、ご

おはあちゃんは家のまわりの畑の草を一生けん命引いてくれます。時には朝から日が暮れるまで、外で仕事をしています。野菜もおばあちゃんが、畑で作ってくれます。

お父さんは、毎日夜遅くまで家族のために働いています。

お母さんは、毎日炊事、洗たく、そじなど家の中の仕事をたくさんしています。

弟と私は、少しでもお母さんを助けようと毎日交替で、お風呂そうじをしています。

家族は、お互いに助け合って、生活しているのだなあと思います。誰か一人が欠けても、かわりを誰かがやらなくてはなりません。

地域で暮らす人々も、家族と同じです。みんなで助け合って生活していくけば、きっと住みやすい街づくりができると思います。一人一人の温かい気持ちが、大きな力となるような気がします。

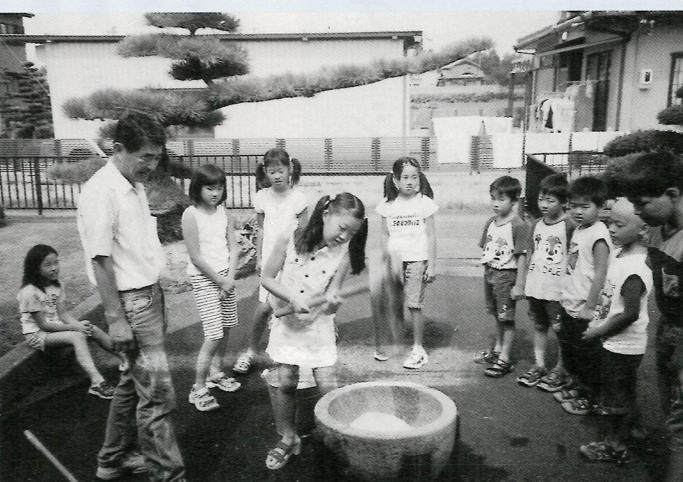
このフレコミ隊を考えてくれた人、私がフレコミ隊に入るきっかけを作ってくれた人、私が気持ちよく生活できるようにがんばってくれている家族、みんなにお礼を言いたいです。「ありがとう。」

校に入る前の小さな子からシニアクラブの方から投げるこつて行されました。自治会長さんのあいさつで始輪投げの次は、お餅つきです。場しかないので楽しみでした。たけれど、力いっぱいつきましズムよくつくことが出来ました。と思いました。家ではなかなかできない体験がてきて、良かつたです。

私達がビンゴゲームをして遊んでいる間に、ついたおもちゃで、きなこもちとあんころもちを作つてもらいました。大広間に全員集合して食べました。自分達でついたおもちは、やわらかくとてもおいしかったです。

今日は、とても楽しく過ごせました。ありがとうございました。

いろんな世代の方とふれあえ、楽しい体験ができるこの行事は、大野町の「宝」だと思います。この「三世代ふれあい広場」を、これからもぜひ続けてもらえるといいな。と思いました。



## フレコニ隊に入つて

和之口三林 一登 岩井 万壽

## 二世代ふれあい広場

卷之三